

## はじめに

時代は、昭和から平成、令和へと替わってきました。時代の変遷とともに、生活や文化も変わりつつあり、過去の多くのものが人々の記憶の中から消え去ろうとしています。そんな中で忘れられないものもあります。「人の一生」で言えば成人になる前の躍動感あふれる時期であり、「時代」で言えば昭和 30 年代前後の時代です。とりわけ、高度成長に向かい始めた昭和 30 年代は、多くの人々に高揚感をもたらし、忘れられない人も多いと思います。

私たちは「渥美半島の昭和を記す会」として集まりました。主に昭和 29 年生まれ前後の者たちです。会のメンバーにとって、昭和 30 年代は小学生から中学生の多感な時期でした。世間では、「もはや戦後ではない」と言われ、これまで裸電灯と真空管ラジオしかなかった家庭生活の中に、白黒テレビや洗濯機などの電化製品が急速に入り込んできました。イモと麦の農業から商品作物に転換し、牛車と牛耕から耕耘機やトラクター・トラックが普及するなど農業の機械化も始まっていました。そして昭和 43 年の豊川用水の通水を契機に、渥美半島の農業は飛躍的に発展しました。

今その時代にあった様々なものが忘れ去られつつあります。

戦争前後の書籍や文献は多く残されているものの、昭和 30 年代前後のものは少なく、渥美半島の生活や文化について語られたものは限られています。私たちは「昭和の原風景」とでも言うべき高揚感あふれた時代を何とか形に残しておきたいと願いました。

田原市内全校区のメンバーの一人一人にそれぞれの思い出を書いていただき、昭和 30 年代を中心に当時の生活を記した手記として集録させていただきました。このような活動の中から当時の渥美半島の歴史とくらしがより鮮明に蘇るのではないかと期待しました。また、手記を書いたり読んだりする中で、渥美半島の風俗や歴史に目を向ける人が増えることも願いました。

こうした私たちのささやかな取組みが、田原市内のみならず東三河地域や各世代に広がり、地域文化の発展に寄与することができたのならば、これ以上の幸せはないと考えます。

2022 年 8 月

渥美半島の昭和を記す会  
代表 小川 悟

はじめに	.....	1
もくじ	.....	2
渥美郡のあゆみ・田原市全図	.....	4
農村（六連）の思い出	六連 藤井 正剛（昭和29年生）.....	6
私の家は瓦屋さん	六連 中村恵美子（昭和29年生）.....	8
子供時代の原風景	神戸 仲井 通泰（昭和29年生）.....	9
ワタシの昭和	神戸 山本 栄子（昭和29年生）.....	10
「川岸」	神戸 江口 明美（昭和29年生）.....	12
ほうべと牛車が行き交った農道	神戸 藤城 信幸（昭和29年生）.....	13
田原町立神戸小学校の木造校舎	神戸 藤城 信幸（昭和29年生）.....	14
農家（南神戸）のくらし	神戸 藤城 信幸（昭和29年生）.....	15
子供のころの懐かしい味	大草 河合 睦美（昭和18年生）.....	17
学校生活の思い出	大草 河合 睦美（昭和18年生）.....	18
共同の苗代	大草 河合 睦美（昭和18年生）.....	19
あの頃あの時、小昔の話	大草 横田 弘道（昭和18年生）.....	20
私の「水の歌」	大草 藤原 喜郎（昭和29年生）.....	21
思い出に残る風景	大草 大塚富士子（昭和29年生）.....	22
「団塊の世代」と呼ばれて	東部 彦坂 久伸（昭和23年生）.....	23
台風の思い出	東部 彦坂 久伸（昭和23年生）.....	24
田舎はいいね	東部 小川 一成（昭和29年生）.....	25
ドローンに思う	東部 川口 昌宏（昭和29年生）.....	26
子供の頃の遊びと学校生活	南部 鈴木 公恵（昭和29年生）.....	27
ヤマモモ（楊梅）の熟する頃	童浦 小林 一弘（昭和22年生）.....	28
トロンボと鰻	童浦 鈴木 利雄（昭和22年生）.....	29
桶と籠（たが）	童浦 鈴木 利雄（昭和22年生）.....	30
寒かった子供の頃	童浦 鈴木 利雄（昭和22年生）.....	32
セピア色の記憶	中部 鈴木 徹（昭和23年生）.....	34
貧しくてもタフな思い出	中部 小原 敏英（昭和29年生）.....	36
「昭和」思い出のひとつ	中部 南屋巳枝子（昭和29年生）.....	37
記憶に残る町並み、遊び	中部 夏目 春代（昭和29年生）.....	39
「8人家族の生活」が私の人生の基盤	衣笠 近藤 博子（昭和29年生）.....	41
墓参り	野田 山田 政俊（昭和19年生）.....	42
楽しい思い出がいっぱい	野田 河辺 秀嗣（昭和26年生）.....	43
浜辺の思い出	野田 鋤柄 高継（昭和29年生）.....	44
高松での幼少期の記憶に残る出来事	高松 本田 泰敏（昭和25年生）.....	45
歩いてきた時代のサブカルチャー	高松 大羽 清隆（昭和29年生）.....	47
その頃の高松	高松 福井 恒芳（昭和29年生）.....	48
赤羽根あれこれ	赤羽根 鈴木 孝久（昭和29年生）.....	50
暖かい気候とお花畑	若戸 伊藤 博文（昭和23年生）.....	51
メジロ捕り	若戸 伊藤 博文（昭和23年生）.....	53
大きな背中に包まれて	亀山 本田 雅彦（昭和29年生）.....	55
サツマイモの集荷場	中山 三竹 清一（昭和29年生）.....	56
清水の遊び場	中山 三竹 清一（昭和29年生）.....	57

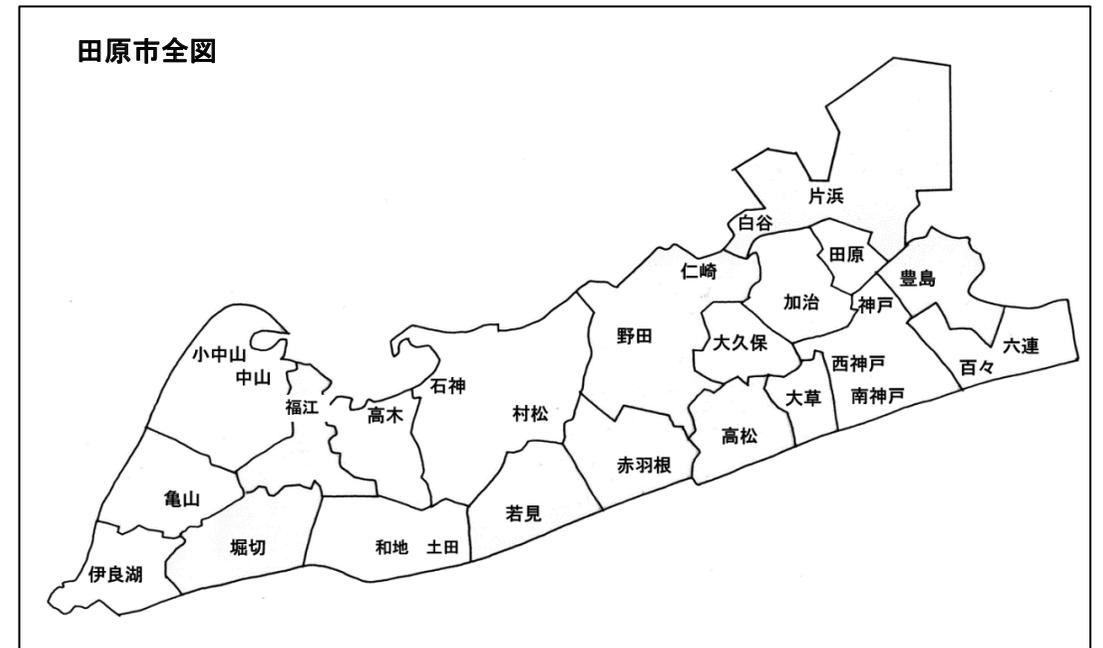
川遊びとパチンコ	中山 三竹 清一（昭和29年生）.....	58
天白橋を渡るとき	中山 小川 雅魚（昭和26年生）.....	60
出張りで鳴いた『かあか』	中山 小川 悟（昭和29年生）.....	61
射場跡で遊ぶ	中山 小川 悟（昭和29年生）.....	62
共同洗濯場からのおくりもの	中山 伊藤みさ枝（昭和29年生）.....	63
賑やかで華やかな町「福江」	福江 天野 明子（昭和20年生）.....	64
福江の街の中心地で	福江 鈴木 吉春（昭和29年生）.....	65
幼い頃を思い起こして	清田 山田 敦子（昭和29年生）.....	67
子供のころの思い出	泉 山本 茂子（昭和24年生）.....	69
故郷「石神と石神観音」	泉 伊藤 尋思（昭和25年生）.....	71
夏休みの海での遊び	和地 石川 祐子（昭和29年生）.....	72
磯の恵み	和地 石川 祐子（昭和29年生）.....	74
自動車ポップで	和地 石川 祐子（昭和29年生）.....	75
豊饒の海に集う	和地 河合 京子（昭和29年生）.....	76
堀切海岸今昔物語	堀切 高瀬 長男（昭和25年生）.....	77
伊良湖の風景と思い出	伊良湖 小久保健一（昭和25年生）.....	78
待ち遠しかった「おんぞさん」	伊良湖 小久保健一（昭和25年生）.....	79
おわりに	.....	80



昭和30年代後半の福江港の客船（田原市博物館提供）  
 福江港は、豊橋、蒲郡、亀崎、熱田、鳥羽と定期船で結ばれ、  
 昭和29年には約2万人が定期船を利用していた。

昭和	渥美郡のあゆみ (1945~1968年)
20年	三河地震が発生 太平洋戦争の終戦
21年	西山地区の開墾が始まる (当初の入植 101戸)
22年	日本国憲法が施行 6.3.3 制教育の実施、中学校の設立、学校給食が始まる
23年	保育園の設置が始まる 堀切地区で電照菊栽培が始まる 成章中学校 (5か年修業) が愛知県立成章高等学校になる 福江女子実業学校が福江高等学校になる
24年	農林省が豊川用水事業に着手 (宇連ダム建設工事に着工)
25年	朝鮮戦争が勃発 サトウキビ栽培がピークに
26年	サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約を調印 愛知県立渥美農業高等学校が開校する
27年	高松一色地区で畑地灌漑事業を実施 (~30年)
28年	13号台風が襲来 表浜の地引網が不振になる 赤羽根漁港整備工事に着手 石門-骨山-恋路ヶ浜-伊良湖港の観光道路が開通
29年	サツマイモでんぷん製造、マオラン製造が活況
30年	田原町・神戸村・野田村が合併し新田原町が誕生する 福江町・伊良湖岬村・泉村が合併し渥美町が誕生する 高度経済成長期に入る 神武景気
31年	経済白書「もはや戦後ではない」と規定 国連に加盟 農林省の伊良湖開拓事業 (西山開拓) が完了
32年	ソ連人工衛星打ち上げ成功
33年	赤羽根村が赤羽根町になる 動力耕耘機が普及し始める テレビ受像機を持つ家庭が増えてきた 「月光仮面」 放映
34年	伊勢湾台風が来襲 週刊少年マガジン、週刊少年サンデーが創刊
35年	白谷トンネルが開通
36年	渥美フラワーセンターが開園 六連久美原でプリンスメロンを導入
37年	東部中学校が開校 (神戸中学校・同六連分校廃止) 第1次農業構造改善事業の開始
38年	白木屋スーパーマーケットが開店 蔵王山吉胡側観光道路が完成 伊良湖港が完成
39年	名神高速道路が開通、東海道新幹線が開業、東京オリンピック大会の開催 蔵王山展望台が完成 伊良湖-鳥羽間フェリーボートの就航 渥美たくあんが活況

40年	伊良湖海水浴場がオープン
41年	カラーテレビ、カー、クーラーが新三種 (3C) の神器となる 集中豪雨が発生し大きな被害が出る
42年	田原湾埋立工事の起工式
43年	田原北部小学校と田原西部小学校が統合し童浦小学校となる 豊川用水が完成し全面通水 東名高速道路が開通 伊良湖ビューホテルがオープン



昭和30年代前半  
赤羽根海岸における  
地引網  
(田原市博物館提供)

